

埼玉の社会福祉法人青い森

埼玉県加須市の社会福祉法人青い森（三浦由希子理事長）は17日、大規模林野火災で被害を受けた大船渡の帰還支援などに尽力し、

自身もスタッフとして頻繁に気仙を訪れてきた。

昨年9月に埼玉に拠点を移してから大船渡をはじめとした被災地への思いを寄せ続けており、ゆかりのあるまちでの火災を受け、「何かできることを」とチャリティーイベントを計

画。売り上げの一部は大船渡市に寄付することに決め、同テラスを会場に、さとう製菓(株)の協力を得て「かもめの玉子」約450箱をはじめ、青森県の業者の協賛で米やリンゴジュースを販売し、好評を博した。プロバスケットボール選

同日は、同法人の下山貴裕本部長（33）と、ハヤシテラスの宮本航大副施設りテラスの宮本航大副施設長（46）が市役所を訪問。
 市役所を訪ねたのは、義援金の目録と募金を託し、早期復興を願った。

宮本副施設長は以前、青森県弘前市の社会福祉法人・弘前豊徳会に勤務。同法人は東日本大震災被災地



大船渡市に寄付を届けた下山本部長^中と宮本副施設長^左

宮本副施設長は「福祉や介護が必要な人に役立ててもらえたらうれしい。今回のイベントでつながりも生まれたので、また継続してやってきたい」と力を込めた。